

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 4年次生 足立 壮

1. はじめに

この度、私は国際交流基金の助成を受けて、2017年3月19日から3月28日までの間、オーストラリアのゴールドコーストにある Inforum education という語学学校で英語を学んできました。英語のスピーキング力およびリスニング力に重点をおいた語学力の向上、さらに国際感覚を養うことを目標とした、ホームステイをしながらの語学留学でした。私はこの語学学校に昨年もお世話になっており、今回訪問するのは2回目でした。

2. 語学学校での生活について

語学学校ではヨーロッパやアジア圏から留学生が来ており、自分のクラスは約15人ほどでした。もちろんわずかな期間だったので驚くほど英語力があがるわけではありませんでした。しかし、こういう場でしか外国の人と関わる機会はないし、積極的に友達を作っていきたいと思っていました。最初言葉が通じない相手に対してどうコミュニケーションをとればよいのかわからず、しかし、一緒にグループワークをするうちにだんだん仲良くなれて、身振り手振りを交えながら話せるようになってきました。授業後にはワークショップがあり、日本人のスタッフであるジュンが、留学でつまずいたところや英語の勉強方法を日本語で教えてくれました。



海外生活で不安なことや、ホームステイ先の家族とのかかわり方など、日本語で質問させていただくことができました。僕も、日本に帰ってからもできる英語の勉強法など教えていただくことができました。

ワーキングホリデーとして、海外で初めて1年間生活するという日本人もたくさんいて、普段関わる人たちとは大きく考え方、価値観が異なっていて、すごくいい刺激になりました。

3. ホームステイ生活について

僕のホームステイ先は父、母、犬2匹の素敵な課程でした。ホームステイ先に到着したその日に近くの酒場に連れて行ってもらい、ビールを勧めながら歓迎してくれたことは今でも忘れられません。この家族は、海外生活に不慣れで英語で話すことがほぼできない私にとっても親切に、優しく接してくれて、居心地がよかったです。

そしてとても驚いたことに、昨年ホームステイでお世話になった家族が、現在のホームステイ先の近くで暮らしていました。滞在中に立ち寄って再会を果たすことができ、とても感激しました。



ホームステイ先の家族との交流

4. 観光

週末はシドニーに移動し、ブルーマウンテン観光に出かけました。そこで、関東からシドニーに留学に来ている日本人に出会い、友達になりました。彼は関東の医科大学の学生で、同じ医療系大学に通っているという共通点があったため、すぐに仲良くなれました。海外の人とも接するのも貴重な体験ですが、このような渡航先での日本人との出会いもすごく面白いです。海外を志す日本人にはユニークな人が多く、自分ももっと外の世界を知りたくなりました。

5. 最後に

この海外留学を通して、私はさらに海外の人と関わる場をもちたいと考えるようになりました。私は今5年生で地元の病院で実務実習中です。この海外での体験を仕事に生かそうとまでは考えていませんが、働き出してから趣味として海外旅行にもっといきたいと考えています。まだまだ知らない世界があり、知らない人がいて、自分の体験したことのない感覚があるということを知れました。学生生活の中でこのような体験ができたことはすごく幸運なことだと思います。国際交流基金の助成のおかげでこのような貴重な体験をする機会を得ることができ、感謝しています。